



ホームページ アドレス <http://sachiko8.sakura.ne.jp/>

または「八丈動物病院」で検索

今回は73・74号の合併号になりました。ご了承下さい。

ようやく開催できた住民懇談会 11月17日（金）夜7時～8時半

コロナ禍の影響で住民の意見を直接聞く機会がありませんでしたが、昨年11月に第2回の住民懇談会を開くことができました。4年前に実施したときは懇談会の目的や趣旨がはっきりしていなかったため、議会としてその結果を発信することもできませんでした。

今回は議員全員が参加するという条件を満たせば、議会活動と認められることになり、新聞折り込みやSNSによる事前のアンケートが可能になりました。その結果、50件以上の反応があり、それをもとに3グループに分けて話し合うことにしました。準備をしてきたのは、議会だより編集委員の真田議員、碧海議員、則子議員と私の4人です（アンケートについては真田議員と碧海議員が担当）。

参加した住民は17人、議員12人で、「高齢者・交通・動物」「観光・産業」「子育て・教育」の3グループで、自由に意見交換を行いました。

高齢者・交通・動物

住民8人と私を含む議員6人の最も大きなグループで、高齢者が直面している、またはこれから起こりえるテーマが多く出されました。

- 「坂上から1便で上京するときの交通手段がない」
- 「運転範囲や時間を限定した上での運転免許継続を」
- 「飼い猫の生涯飼育の仕組みづくりを」
- 「乳がん手術後の温泉入浴について（その後、要望が通って着衣入浴が可能に）」
- 「住民どうして助け合うシステム作りを」

などが話題になりました。

住民の声を直接聞いたことが、今、町に必要な施策のヒントになり、12月議会では、そうした要望に沿った質問も多く出されました。

今後は、住民との交流の機会を増やし、内容の改善も図りたいと思っています。

観光・産業

テーマにこだわらない流れになり

- 「教育のICT化」
- 「八丈で子育てする意義を明確に」
- 「小・中学校数の集約が必要」
- 「八高と中学校の連携を」
- 「教員の人材不足」など教育関係に話題が集中しました。

子育て・教育

- 「島の特徴を活かせる教育内容に」
- 「三根小のトイレの故障や体育館の雨漏りの修理を」
- 「小中学校の統合について」
- 「町役場職員の定着策を」「空き家対策を」

などの意見や要望が出されました。

なお、事前アンケートと懇談会の内容の詳細については、八丈町公式サイトの子育てのページの議会ホームページをご覧ください。



2023年12月議会

一般質問



1. デマンドタクシーの導入について

全国で高齢化が進み、交通手段を失う方々が増え、地方では交通の空白地帯を埋めるための対策が進められている。議会では、宮城県丸森町のデマンドの取り組み「あし丸くん」を視察し、個人的には山形県南陽市の「おきタク」を見てきた。デマンドタクシーを導入している自治体は数百に上る。

八丈町でも導入の必要性は高まっていること、その仕組みは地域の実情に合わせて綿密に計画することが必要であることを感じた。

問 実行委員会で実施している実証実験の実態を把握しているか。

企画財政課長 今年1月に無料のデマンド実証実験を行った。9月下旬からは有料（300円／子供100円）で半年間の実験を行うと聞いている。

問 分科会の実証実験を受け、導入時期などどんな計画を考えているか。

町 結果を見てからでないと計画は立てられない。事業として成立するのもかも検討していきたい。

問 分科会、町、議会で公共交通会議をつくるべきと思うが町の考えは。

町 この会議における町の立場は事務局であり、意見を述べる立場にはない。

企画財政、企業、産業各課長と会議をもっているが、まずデータを集めることに注力していきたい。



2. 高齢者福祉政策の方向について

八丈町の人口が減少し、町の高齢福祉策とくに介護保険事業計画は変更を余儀なくされている。今年は第8期事業計画の3年目にあたり、第9期事業計画の策定に向けて内容を検討している時期だと思う。今後は何を重要視していくのかを問う。

問 特別養護老人ホームの施設老朽化が進んで建替えの必要があると言われているが、規模や時期について話し合いは行われているか。

福祉健康課長 特別養護老人ホームの老朽化と建替えについての話し合いは事務レベルの会議である程度は進めている。時期や規模についてはまだ出ていない。

問 以前、増床や建替えのために町が候補として確保している場所は、対象となるのか。

町 養和会と隣接している土地なので、対象となると考えている。

問 養護老人ホームがなくなって5年以上が経過しているが、その際対象だった方の受け入れ先をどう考えているか。

町 養護は都の施設であったし、町は関与するものではない。町としては（短期入所）ショートステイ20床があるのみで、他には島外の措置施設を利用していただくことになる。民間でサービス付き高齢者住宅が運営されている。



都議会議員が来島、八丈町議と意見交換 10月18日（水）

自民党の都議5人が、島しょ選出の三宅正彦都議とともに来島しました。大島、御蔵島を視察のあと、ヘリコプターで八丈へ。最終便で帰るまでのわずかな時間でしたが八丈町議員と意見交換の機会をもちました。

島外からの生徒受け入れ制度を充実してほしい。看護師や薬剤師など医療スタッフ不足の解消を。島外交通費補助の問題点の課題。デマンドタクシーは実証実験だけでなく、実現に向けて予算措置を。物価高騰への対策を。輸送コストが負担なので海上運賃補助を。観光については好評だった「島ぼ」を来年もお願いしたい。など様々な要望が出されました。



都議はそれぞれについて、持ち帰って検討するとのことでしたが、同時に八丈町の議員が率先して行動に移すことも重要と指摘されました。



八丈町介護保険運営協議会

11月13日午後2時～

今年度で2回目となります。協議会には議会からも1人参加することになっていて私はこれまで委員をつとめています。令和4年度介護保険特別会計決算では、前年度と大きな変化はありませんでした。

来年度は3年ごとに見直される介護保険料（第9期）が決められますので、収支の結果に関心が寄せられました。高齢化が進み介護を受けている方が増えつつある中、町は保険料が上がらないよう様々に工夫をしています。正確な金額は今年度末に決まります。

また、現在町と養和会に地域包括支援センターがありますが、養和会が委託を辞退したことから、町はあらたな委託先を募集しました。その結果、一般社団法人「櫻寿会」（代表者 渡辺彰敏氏）が委員の多数により承認されました。人員不足の状況下で、高齢者福祉策が後退することがないよう願いました。

住民懇談会・その後 「ねこ部」ができる

11月17日に行われた懇談会で「高齢者、交通、動物」グループでは、動物の終生飼育について話が盛り上がりました。高齢者の飼い主が病気したり施設に入ったりして飼育が出来なくなった場合、ネコを引き取ってくれるような仕組みがほしいという意見が何人かから出されました。

そこで、問題の解決に向けて関心のある人で「ねこ部」を立ち上げました。1回目は11月27日（月）に、その後12月25日（月）、1月22日（月）と毎月集まって話し合っています。

ノラネコが増えて苦情が寄せられている状況も町の課題ではありますが、この会の目的は、「飼いねこの生涯飼育を可能にすること」に焦点をあてて活動することです。一朝一夕に解決できる問題ではありませんが、住民主体の活動が始まったことを歓迎しています。



島内視察 1月15日(月) 新しくなった施設を見てきました

1. 空港ターミナル駐車場

年末年始やお盆の時期に、駐車場が混雑して混乱をもたらしている状況を改善するために、東京都は改修工事を行いました。駐車台数を増やし(278台から415台)、モニュメントの移設やケンチャヤシの移植などを行いました。まだ、混雑・混乱がすべて解消されたとは言えませんが、利用者が改修後の駐車場に慣れていくことも必要だと思いました。また、離任、赴任、年末の送迎に多くの方が空港に集まります。そうした場合の人数を抑制することも考えなくてはならないと感じています。



2. 大川浄水場

老朽化した浄水場の建て替えは6年前から計画され、昨年秋に完成しました。総工費約11億2千万円で、これまでは砂ろ過方式だったのを、最新の技術を駆使した膜ろ過方式にし、よりきれいな飲料水を実現させたそうです。ここから三根地域のほぼ全世帯の水を供給しているとのことでした。

3. 町営バス事務所・車庫

入札不調や工事の遅れなどありましたが、昨年10月に完成しました。この移転は都道の変更によるもので、都による移転費用の補償は約6,700万円。総工費は約2億3千万円で、路線バスなど3台のバスが入る車庫と事務所に加えて、運転手とバスガイドのそれぞれの休憩室が整備されていました。観光客が増えている状況で、職員の労働環境が改善されることが期待できそうです。



● 議員の忘年会 12月14日(木)

議員がプライベートに集まって話合うことは、これまでほとんどありませんでした。浅沼隆章議員の呼びかけで、はじめて忘年会を開くことになりました。11人の議員と議会事務局の職員2人が参加し、居酒屋で楽しく語り合いました。

それぞれの立場で町の事業やイベントに関わっていることも分かりました。議会の話題にとどまらずお互いの日常を語ることで、より理解が深まったと思います。

● パブリックロードレース 1月7日(日)

第43回の大会が580人の参加で開かれました。参加費は一般で6,500円。記念Tシャツと温泉チケットと大懇親会参加が含まれています。昨年できなかった「懇親会」も好評のうちに開かれました(懇親会の島料理は、婦人会が40人以上で作っています)。観光協会はじめ役場職員、体育協会など多くの関係者の協力あつてのイベントです。



スタッフの方々、完走した参加者の方々お疲れ様でした。

私は運動が苦手なので、せめて応援くらいはとの思いで、毎年参加者に手を振ってがんばれコールを届けています。ユニークなコスプレ選手もいて楽しめました。



2023年12月議会 一般質問



1. 八丈町の島外生徒受け入れ事業に拡充策を

町の島外生徒受け入れ事業（離島留学）は、順調に経過しているものと思っていた。ところがつい先日、突然受け入れ先の方の体調不良によって継続不可能という事態になっていたことを知った。ただ、受け入れる方が個人である以上、体調をくずすことも緊急に上京するということもありうるわけで、そうした場合の対処の方法を町は事前に考えていたのか。こうした事態をふまえ、今後の事業をどう進めていくのかを、決めていく時期に来ているのではないかと思います、町の考えを問う。

問 継続が困難な事態に、どう対処したのか。

教育課長 現在の住居で環境を変えないよう考える。後任のホストファミリー、食事提供、生活支援など生徒の支援に関わってくれる方を募集している。学校のSNSでも発信している。今のところ2件の問い合わせがあり今後面談する。



問 ホストファミリーに頼る今の制度に限界は感じているか。

答 ホストファミリー契約者が今回のように島外に出るような事情がおこることは、もとより想定していない。今の3人の生徒が卒業するまで（令和7年度）は継続していく。

問 民宿借り上げや学生寮などによって制度の継続と拡充をはかる考えはないか。

答 現在の生徒の生活を維持することが、今の町の課題だ。

問 生活支援の募集に2件の問い合わせがあることに少しほっとしている。

ただ、現制度の維持でいっばいで、次の施策は無理というお考えでした。今の制度が限界だからこそ次の施策を打ち出すべきであり、町はできない理由をあげるだけでなく、決断してほしい。一歩踏み出せばなんとかなるのではと思う。教育長はどう考えるか。

教育長 八丈ではホストが見つからないので、この制度の継続は難しいと判断している。寮建設の提案については、八高の活性化のためなのか、定住促進の施策として考えるのか、整理したい。私は島外留学生を入れるより親子で3年間暮らしてもらうのが一番いいと思っている。

問 定住促進より、八高の立て直しに力を入れてもらいたい。生徒数、学級数、教員数が減り、園芸科も風前の灯だ。八高には生徒がのびやかに育つ環境がある。島外の不登校の生徒なども含めて島外生徒の受け入れを考えてほしい。

教育長 不登校の生徒を受け入れる考えはまったく持っていない。



意見書を提出しました

「マイナンバーカードを持っていても、病院では従来の保険証を使っている、保険証はなくさないでほしい」という住民の声を、なんとか国に届けたいと思い、私は12月議会に「健康保険証を廃止しないよう求める意見書」を提出しました。

ただ、意見書の文言が正確さに欠けること、内容を少し変更した上で再度提出すべきと議員から指摘されたため上記の意見書は否決されました。私もその指摘を妥当と考え、以下のように内容を少し変えて改めて意見書を提出し、12月19日の臨時議会で賛成多数で可決されました。

内容の要旨は次のとおりです。



健康保険証を当面廃止しないよう求める意見書

令和5年6月に成立したマイナンバー法の一部改正法によって、マイナンバーカードと健康保険証の一体化が進められ、従来の健康保険証が来年秋にも廃止されることになりました。

全国でのマイナンバーカードは国民の77.0%が取得していますが、オンライン資格確認の利用件数は保険証分と合わせて4.5%にとどまっています。個人情報とマイナンバーカードのひもづけの誤りによるトラブルが相当数あったことなどから、国民の間に不安と疑問が強まったことが背景にあると思われます。

健康保険証の廃止後は、申請者に「資格確認書」を発行して対応するとしていますが、高齢者や認知症の方、介護・障がい施設に入所している方などの場合、本人による申請が難しくなることや、資格確認書の迅速な発行を求められる自治体職員の負担が増えることも懸念されます。

さまざまなトラブルに関連するデータ・システムの総点検とその解決が図られたことが確認できるまで、また、本人による申請に困難が伴う方へのサポートと資格確認書発行に伴う自治体へのサポートが十分に行われるまでは、従来の健康保険証の維持が必要と考えます。よって、八丈町議会は、健康保険証を当面廃止しないよう求めるものです。

ちなみに同様の主旨で、全国で110の自治体から意見書が国に届けられました。

編集後記

1月4日は出初式でした。雨のため、式そのものは富士中の体育館でしたが、消防団の行進や5色の放水、くす玉割りは、地元の方々が見守る中、いつも通り校庭で行われました。

消防団は年々団員が減少していることが課題ですが、最近3人の若い女性が加わり女性団員が5人になったことは朗報でした。役割はそれぞれあるかと思いますが、災害や命を守る任務に力を注いでほしいと思います。

年頭の能登半島地震のニュースには驚きました。亡くなられた方、被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

